

大学の子どもも家庭支援
地域との協働モデルの一例
のびやかスペースあーち紹介

寺村ゆかの
神戸大学大学院人間発達環境学研究科
教育研究補佐員・助産師

のびやかスペース あーち

- 名称：神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター（サテライト施設）
- 2005年9月開設
- 場所：灘区消防署 →2017年より灘区民ホールへ
- 開館日：火曜～土曜 10：30～16：30（時間内はいつでも利用可能）
金曜日 10：30～20：00（17：00～よる・あーち）
- 運営事業：
 - 2007年～ 地域子育て支援拠点事業（「拠点」子育てひろば）
第2種社会福祉事業
 - 2017年～ 子どもの居場所づくり事業（よる・あーち）
 - ・居場所づくり（障害のある子どもや青年 学生 保護者の交流）
 - ・学習支援（学生や市民ボランティアなどが講師担当）
 - ・子ども食堂（灘区連合婦人会が調理担当）

拠点（子ども家庭支援）の紹介

<運営スタッフ>：

- 運営責任教員 1 名 / 事務スタッフ 4 名（1 日 2 名体制）
- 教育研究補佐員 1 ～ 2 名（助産師 / 保健師等 → 主に研究員 / 相談員）

<外部協力者（協働関係）>：

- 灘区地域活動支援コーディネーター 1 名
- 神戸市地域子育て支援センター & 公立保育士（輪番） → 主に相談員
- 産科施設医師・助産師 / 灘区歯科医師会
- その他 個人（市民ボランティア多数 → プログラムリーダー・スタッフ）

* 受賞歴：神戸市市民福祉顕彰（奨励賞） 2009

神戸大学学長表彰 2010

兵庫県ひょうご子育て応援賞 2016

子ども家庭支援の基本方針（1）

- 低月齢からの拠点利用：困難感、負担感、焦燥感、孤立感の早期解消が次のライフステージでの課題に向かうレジリエンス獲得につながる → **【産科施設との協働】**
- 保護者のエンパワメント促進：拠点における自発的・主体的な情報交換・相互サポート提供・観察学習が生じやすい工夫
 - 長時間利用のための環境整備（週5日 6時間/日）
- 保護者のエンパワメント促進：家庭教育（家庭での保育）自信・展望を持ってもらう
 - **【地域子育て支援センター&保育所との協働】**
- 保護者のエンパワメント促進：相談体制の整備・充実
 - **【保育所、灘区、NPOなど多様な地域資源と協働】**

子ども家庭支援の基本方針（2）

- 保護者のエンパワメント促進＋男性の育児参画＋次世代育成（中高生の養育性育成）：「0歳児のパパママセミナー & 中高生の赤ちゃんふれあい体験学習」
月1回・年間7回開催➡【多様な地域資源と協働】
- 男性の育児参画：土曜日開設／パパと遊ぼう【保育士（個人）との協働】
- 母子保健・子どもの健康促進➡【灘区歯科医師会、歯科衛生士、産科施設医師・助産師との連携】
- 親子が拠点で楽しく過ごす：多様なプログラムの編成➡
ベビーマッサージ 親子ふれあい遊び 造形 音楽
おはなし おもちゃ病院 【多様な地域資源（主に個人的なプログラム・リーダー）と協働】

地域協働モデルとして

- 2つの理念 「ワンストップ」 「プラットフォーム」
- 利用者の立場：拠点は、ワンストップ・サービスの場になっていることが重要←そこに行けば、**たいていの育児にかかわるニーズを満たす**ことができる⇒多くのサービス・プログラム（資源）が、極力、拠点という「1か所」で編成されている
- 各支援者の立場：拠点が
 - ①組織業務遂行の場
 - ②自己実現（してみたい支援をする）の場」⇒地域の多様な支援者が寄り合う場（**プラットフォーム**）になっている⇒支援者どうしが一緒になって地域の家庭を支援しているという**連帯感**

ここからが本題です

新型コロナウイルス感染拡大の多大なる影響を受け
神戸市からの要請があり、2020年3月～6月上旬まで休館
6月4日からの再開にあたり感染予防として以下の措置を実施

- ・ **環境整備** 清掃・消毒 備品やおもちゃの洗浄・消毒 2回／日
- ・ **人数制限** (完全予約制) 6組 (親子) まで
- ・ **時間制限** 10:30～12:30 又は、14:00～16:00
- ・ **健康管理** スタッフの検温や健康チェック (追跡調査が可能)
利用者のすべての検温や健康チェック

7月 第5週 あーち利用予約受付表

		7月28日 (火)	7月29日 (水)	7月30日 (木)	7月31日 (金)	8月1日 (土)
午前	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
午後	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					

予約フォームの回答を見ながら、
手書きで保護者の名前を記載
名前から会員番号を調べて
子どもの名前を確認し記載

7月 第 週 あーち利用予約確定

		月日 (火)	月日 (水)	月日 (木)	月日 (金)	月日 (土)
午前	1	会員番号	保護者の名前 子どもの名前			
	2	9999	○○ ○○○ △△ □□			
	3					
	4					
	5					
	6					
午後	1	8888	□□ □ ○○○			
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					

現在の予約システムの課題（1）

• Google Form（無料）を利用

- ①利用したい日の前週の火曜日～金曜日午後17時の間に予約
→利用者（申込者）の立場としては来週の予定を立てにくい
結局、利用当日に電話で問い合わせる利用者が約半数
- ②個人情報の観点および簡便さを優先し、入力内容を少な目に
 - ◆入力内容 保護者の名前 メールアドレス 電話番号
 - 利用希望の日時
 - 子どもの数 一番の上の子どもの年齢
 - （子どもの名前は省略）→事前に子どもの名前が分かれば、環境などの準備ができる

現在の予約システムの課題（2）

- ③予約決定のカレンダーを手作業で作成（土曜日の午前中）
 - そこに手を取られ、本来の業務（相談業務）ができない
 - 保護者の名前から会員番号を調べ、子どもの名前を確認（手作業）
（子どもの特性を前もって知る／名前のシールをつくる準備）
- ④予約の可否をGoogle Form から申込者全員に手作業で送信
 - たまたまに時間枠などをミスしてしまう
 - 送信記録がなされない（双方向とも／重複してしまうことも）

別の課題もあります

拠点は神戸市からの補助金を受けているので、年間の利用者数を年度末（4月中旬に昨年分）に報告していたが、本年度より、月報（神戸市書式）を作成し、半期毎に報告する仕組みに変更。

従来から利用者数は、手作業で日々カウントしており、その書式は大学（年次報告など）にも報告している書式であり、神戸市の書式とは連動していない。

→結局、2パターンの書式に手作業で入力することになり面倒

<他の拠点の例>

利用者が来館時に「会員カード（バーコード等）」をリーダーにかざせば、自動的に利用者数をカウント集計するシステム

皆さんへ



どんなシステムができる
のかしら？

スタッフ一同、
楽しみにしております。

どうぞよろしく
お願いいたします。